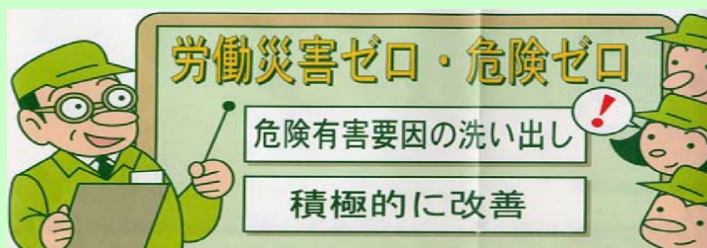


# 「見える」安全活動

## 電気室コントロールユニットの見える化



## ～ 改善事例の概要紹介 ～

### 改善の概要を紹介します！



現状の問題点を説明します！

- ・設備補修等を行う際には、電気室のコントロールユニットを停止させる必要があるが、多くのユニットがあり操作ミスや抜けが発生する可能性があったため、必要操作場所の“見える化”を図った。

電気室は400m<sup>2</sup>と大変広い！



- 電気室内  
多くのコントロールユニットが配置されている。(342台)



- 対象ユニットの搜索  
・搜索に約15分/回要している



- 対象ユニット停止処置  
・ユニットの機器名称を確認し停止処置を行う

### 問題点のまとめ

- ① ユニット数が多いため、探索のための移動範囲が広い
- ② 機器名称が類似しており、間違えやすい
- ③ 特に若手はベテランの倍の時間を要する

# ～ 改善事例の概要紹介 ～

## 改善の概要



### 手順①



### 手順②



### 手順③



### 手順④



■コントロールユニット探索盤の新設  
・コントロールユニット全数(342台)の探索盤を新設。

■対象機器の銘板を確認しスイッチを入れる。

■ランプが点灯したユニットの場所へ移動する。

■対象機器の銘板を確認し機器の停止処置を実施する。

## 対策と成果

- ・コントロールユニット探索盤の新設
  - ◆コントロールユニットの誤操作防止が図れた  
誤停止、誤起動の防止⇒安全性向上
  - ◆若手も安心して機器の停止操作ができる
  - ◆コントロールユニット確認時間短縮  
平均 15分/回 ⇒ 1分/回

<歯止め>  
・教育、訓練の実施

